

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は、2022 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習会場および練習について

- (1) 練習会場（補助競技場・雨天練習場）での練習は、トラック種目のみとする。
- (2) 練習は、指定された練習場で競技役員の指示に従うこと。特に 100m スタート付近は危険防止に努めること。

3. 競技者の招集方法について

- (1) 招集所は、本競技場第 1 ゲート外側（A ゲート側スロープ下）付近に設置する。
- (2) トラック競技について

- ① 招集開始時刻および招集完了時刻は、その競技の開始時刻を基準として下記のとおりとする。

競 技	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始時刻 40 分前	競技開始時刻 20 分前

ただし、下記の種目は、組ごとに招集開始時刻および招集完了時刻が異なるので、競技日程で確認すること。

性別	種 目
男子	100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m
女子	100m

- ② リレー出場チームは、当該種目の招集完了時刻の 60 分前までに、所定のリレーオーダー用紙に走順および監督署名をし、招集所に提出すること。また、リレーオーダー提出後は、必ず招集完了時刻までに招集手続きを完了すること。

種 目	リレーオーダー提出期限時刻	招集開始時刻	招集完了時刻
男子 4×100mR	8 : 00	8 : 40	9 : 00
女子 4×100mR	7 : 40	8 : 20	8 : 40

- ③ 招集受付では、**体調管理チェックシートの確認印・アスリートビブス（登録番号）を競技者係で提示し、腰ナンバー標識を受け取ること。提示等が無い場合は出場できない。**

(3) フィールド競技について

- ① 招集所での招集受付は行わず、その種目の開始時刻を基準として下記のとおり競技場所（現地）にて行う。

なお、競技場内への入場は、競技場内入場可能時刻までは入場を禁止とする（前の競技が遅れている場合は、現地競技役員の指示に従うこと。）。

種 目	競技場内入場可能・練習開始時刻	招集開始時刻（競技場所）
走高跳・走幅跳・三段跳	競技開始時刻 50 分前	競技開始時刻 10 分前
棒 高 跳	競技開始時刻 70 分前	競技開始時刻 10 分前
投 て き 種 目	競技開始時刻 40 分前	競技開始時刻 10 分前

- ② 現地招集では、**体調管理チェックシートの確認印・アスリートビブス（登録番号）を競技役員に提示すること。提示等が無い場合は出場できない。**

- (4) トラック競技の招集完了時刻に遅れた競技者もしくはリレーチーム、フィールド競技の招集開始時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものととして処理をする。
- (5) 2 種目を同時に兼ねる競技者は、2 種目同時出場届を招集所に提出すること。

4. アスリートビブス（登録番号）について

アスリートビブス（登録番号）は、競技中は胸部および背部にはっきり見えるように付けなければならない。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部のいずれかに付けるだけでよい。

5. 競技について

(1) トラック競技について

- ① その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- ② トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ③ スタートコールは、イングリッシュコマンドで行う（「オン・ユア・マークス」、「セット」）。
- ④ 不正スタートをした競技者（チーム）は、1 回目で失格とする。〔競技規則 TR16.8〕
- ⑤ スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本競技会では、同一レースのイエローカード 2 枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。
- ⑥ セパレートレーンのトラック競技においては、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられてレーン（曲走路）を走り、他の競技者に接触しないように注意すること。
- ⑦ 下記の競技種目は、その組のスタート後、以下の指定した時間が経過した時点でその組の競技を終了する。

	3000m	5000m	3000mSC	5000mW
男 子	12 分 00 秒	20 分 00 秒	13 分 00 秒	35 分 00 秒
女 子	13 分 00 秒	20 分 00 秒	---	35 分 00 秒

(2) フィールド競技について

- ① その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- ② 走高跳および棒高跳を除くフィールド競技は、3回試技とする。
- ③ 走高跳は第2曲走路内で行う。1組Aピット：第4コーナー側、2組Bピット：第3コーナー側とする。
- ④ 走高跳ならびに棒高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。ただし、気象状況やその他特殊条件によっては、フィールド審判長の判断で変更する場合がある。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳	男子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	3cm
	女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	---	---	3cm
棒高跳	男子	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	5cm
	女子	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	---	---	5cm

- ⑤ 走幅跳ピットは、1組Aピット：ホームスタンド側、2組Bピット：ホームトラック側、3組Cピット：バックトラック側、4組Dピット：バックスタンド側とする。
- ⑥ 三段跳ピットは、1組Aピット：ホームスタンド側、2組Bピット：ホームトラック側とする。
- ⑦ 三段跳の踏切板は、砂場から男子Aピット9m、Bピット12m、女子は9m地点に設置する。

6. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用のポールは、個人所有の物を使用できるが、競技開始前に現地において競技役員が検査を実施する。
- (2) 跳躍およびやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用することができる。
- (3) 投てき用具は、個人所有の持ち込みを認める。ただし、希望者は各競技開始時刻の90分から60分前までに検査を受け合格した物に限り使用することができる。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、競技者全員で使用できるものとする。

【検査場所：本競技場正面玄関外側 右側付近】

7. 競技用靴について

- (1) スパイクの数は11本以内、長さは9mm以内とする。走高跳およびやり投のスパイクの長さは12mm以内とする。また、スパイクの先端の直径は4mm以内とする。
- (2) 靴底の最大の厚さは、フィールド種目（三段跳を除く。）は20mm以内、三段跳は25mm以内、800m未満の種目（ハードル種目を含む。）は20mm以内、800m以上の種目（障害物競走を含む。）は25mmでなければならない。〔競技規則 TR5.13〕
- (3) 競技終了後に、シューズの確認をする可能性がある。

8. 競技結果について

各種目の競技結果については、アナウンス、大型スクリーンおよびウェブサイトにて行う。

9. 更衣室について

- (1) 本競技場の1階更衣室が利用できる。
- (2) 更衣室は更衣のみとし、シャワーの使用は禁止とする。

10. 一般注意事項

- (1) 本競技会の大会本部は、本競技場1階第9会議室に大会期間中設ける。
- (2) 貴重品類等は各自で管理し、万一の紛失・盗難にあっても主催者は責任を一切負わない。
- (3) 本競技会に関わるすべての方々に対し、競技中に発生した傷害・疾病等は、傷害保険の加入範囲および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、主催者は責任を一切負わない。また、本競技会に関わるすべての方々の感染に対するいかなる責任も主催者は一切負わない。
- (4) プログラム記載事項に訂正がある場合は、出場種目の招集開始時刻前までに競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面で行うこと。
- (5) 記録証明書を希望する競技者（チーム）は、大会本部に一通300円を添えて申し出ること。

11. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (1) 競技中を除いて、原則マスクを着用すること。
- (2) 休憩待機所、練習会場および招集所等については、競技役員の指示に従い、マスク着用およびソーシャルディスタンスを確保すること。
- (3) 飛沫拡散を防ぐため、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話は避けること。
- (4) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の発症が確認された場合は、必ず主催者（岡山陸上競技協会）へ連絡すること。